

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2003-58058 (P2003-58058A)  
 【公開日】平成 15 年 2 月 28 日 (2003.2.28)  
 【出願番号】特願 2001-248106 (P2001-248106)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 9 F 3/10

G 0 9 F 3/00

G 1 1 B 7/24

G 1 1 B 7/26

【F I】

G 0 9 F 3/10 H

G 0 9 F 3/10 A

G 0 9 F 3/00 S

G 1 1 B 7/24 5 7 1 A

G 1 1 B 7/26 5 3 1

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 2 月 16 日 (2005.2.16)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ラベル素紙と、その片面に塗布された粘着剤層と、その粘着剤層を覆う剥離紙から構成され、前記ラベル素紙に環状のディスク用ラベルを区画する円形の内側ラベル切込みと外側ラベル切込みを同心円状に設けたディスク用ラベル素材シートにおいて、前記内側ラベル切込みの半径が、前記ラベルを貼り付けるディスクの中央部に形成された透孔の半径よりも 0.5 mm ~ 1.0 mm 大きいことを特徴とするディスク用ラベル素材シート。

【請求項 2】

請求項 1 記載のディスク用ラベル素材シートにおいて、前記ディスクの中央部に形成された透孔の半径が 7.5 mm であることを特徴とするディスク用ラベル素材シート。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載のディスク用ラベル素材シートにおいて、前記剥離紙に、その剥離紙からラベルを剥離するときにラベル側の粘着剤層に付くタブを形成するタブ切込みを、前記ラベル切込みの直径方向に対向して少なくとも 2 つ設けたディスク用ラベル素材シートとし、前記タブ切込みが、前記外側ラベル切込みの内側領域から外側領域に跨って形成されていることを特徴とするディスク用ラベル素材シート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0015  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【0015】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するために、第 1 の手段は、ラベル素紙と、その片面に塗布された粘着

剤層と、その粘着剤層を覆う剥離紙から構成され、前記ラベル素紙に環状のディスク用ラベルを区画する円形の内側ラベル切込みと外側ラベル切込みを同心円状に設けたディスク用ラベル素材シートにおいて、前記内側ラベル切込みの半径が、前記ラベルを貼り付けるディスクの中央部に形成された透孔の半径よりも0.5mm～10mm大きいことを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の第2の手段は、第1の手段記載のディスク用ラベル素材シートにおいて、前記ディスクの中央部に形成された透孔の半径が7.5mmであることを特徴とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明の第3の手段は、前記第1または第2の手段において、前記剥離紙に、その剥離紙からラベルを剥離するときにラベル側の粘着剤層に付くタブを形成するタブ切込みを、前記ラベル切込みの直径方向に対向して少なくとも2つ設けたディスク用ラベル素材シートとし、前記タブ切込みが、前記外側ラベル切込みの内側領域から外側領域に跨って形成されていることを特徴とするものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

嵌合凹部14の外周部に、フラットなラベル受け面17が設けられている。ケース本体11の底面の周辺部に当たる四隅に、基台突出部18が設けられる。ケース本体11には対向した2枚の側壁19が立設され、そのほぼ中央部に前記タブ9の長さより若干長い切欠部20が形成されている。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

一方、寸法差が13.0mmのものはラベルの中央穴の周縁がコンパクトディスクの周縁から十分に離れているから、粘着剤が滲み出してコンパクトディスクの周縁まで到達することはないが、中央穴の形成によるラベル印刷面の減少率がかなり大きくなり、写真や

イラストの印刷には不向きである。図 2 3 は寸法差が 1 3 . 0 mm のラベルを貼り付けたコンパクトディスク 2 7 の平面図で、図 1 4 のもの（寸法差が 1 . 0 mm のラベル）と比較すると、写真の中央部が大きく欠けている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

以上のことから、ラベルの中央穴の半径、すなわち内側ラベル切込みの半径を、ディスクの透孔の半径よりも 0 . 5 mm ～ 1 0 mm、好ましくは 1 mm ～ 9 mm 大きくすることにより、粘着剤が滲み出してコンパクトディスクの周縁まで到達することがなく、しかも写真やイラストの中央部分が欠ける割合の少ないラベルが得られる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 8】

【発明の効果】

本発明の第 1 の手段は、ラベル素紙と、その片面に塗布された粘着剤層と、その粘着剤層を覆う剥離紙から構成され、前記ラベル素紙に環状のディスク用ラベルを区画する円形の内側ラベル切込みと外側ラベル切込みを同心円状に設けたディスク用ラベル素材シートにおいて、前記内側ラベル切込みの半径が、前記ラベルを貼り付けるディスクの中央部に形成された透孔の半径よりも 0 . 5 mm ～ 1 0 mm 大きいことを特徴とするものである。

このようにすることにより、粘着剤が滲みだしてコンパクトディスクの周縁まで到達することがなく、しかも写真やイラストの中央部分が欠ける割合の少ないラベルが得られる。

。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

本発明の第 2 の手段は、第 1 の手段記載のディスク用ラベル素材シートにおいて、前記ディスクの中央部に形成された透孔の半径が 7 . 5 mm であることを特徴とするものである。このように、第 1 の手段記載のディスク用ラベル素材シートにおいて、前記ディスクの中央部に形成された透孔の半径が 7 . 5 mm である場合に、粘着剤が滲みだしてコンパ

クトディスクの周縁まで到達することがなく、しかも写真やイラストの中央部分が欠ける割合の少ないラベルが得られる効果が顕著なものとなる。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

本発明の第 3 の手段は、前記第 1 または第 2 の手段において、前記剥離紙に、その剥離紙からラベルを剥離するときにラベル側の粘着剤層に付くタブを形成するタブ切込みを、前記ラベル切込みの直径方向に対向して少なくとも 2 つ設けたディスク用ラベル素材シートとし、前記タブ切込みが、前記外側ラベル切込みの内側領域から外側領域に跨って形成されていることを特徴とするものである。

このように、タブ切込みを外側ラベル切込みの内側領域から外側領域に跨がって形成することにより、外側ラベル切込みとタブ切込みを位置的にずらすことができるから、プリンタでディスク用ラベル素材シートに印刷をするときに、従来のように切れ目ができて、商品品質を低下するようなことがなくなる。

また、タブ切込みが外側ラベル切込みの内側領域に少しかかる程度であるから、そのタブ切込みに基づくシワもラベルの外周部近くに少し現れる程度であり、シワが目立たない

。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】

